



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 栗田工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6370 URL <http://www.kurita.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 稔之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 門田 道也 TEL (03) 6743-5013
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	129,662	△2.8	14,617	△25.4	15,382	△24.1	7,213	△32.9
24年3月期第3四半期	133,404	3.2	19,586	1.0	20,255	0.7	10,754	△10.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,396百万円(9.5%) 24年3月期第3四半期 8,578百万円(△17.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	57 33	—
24年3月期第3四半期	84 91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	253,067	201,969	79.4
24年3月期	271,141	210,002	77.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 200,813百万円 24年3月期 208,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—	21 00	—		
25年3月期(予想)				21 00	42 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,000	1.1	25,000	△14.9	25,700	△15.4	13,600	△17.8	108 09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料5ページの「サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページの「サマリー情報(その他)」に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	132,800,256株	24年3月期	132,800,256株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	13,635,355株	24年3月期	6,140,839株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	125,826,246株	24年3月期3Q	126,659,888株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は添付資料4ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 連結財務諸表に関する注記	10
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

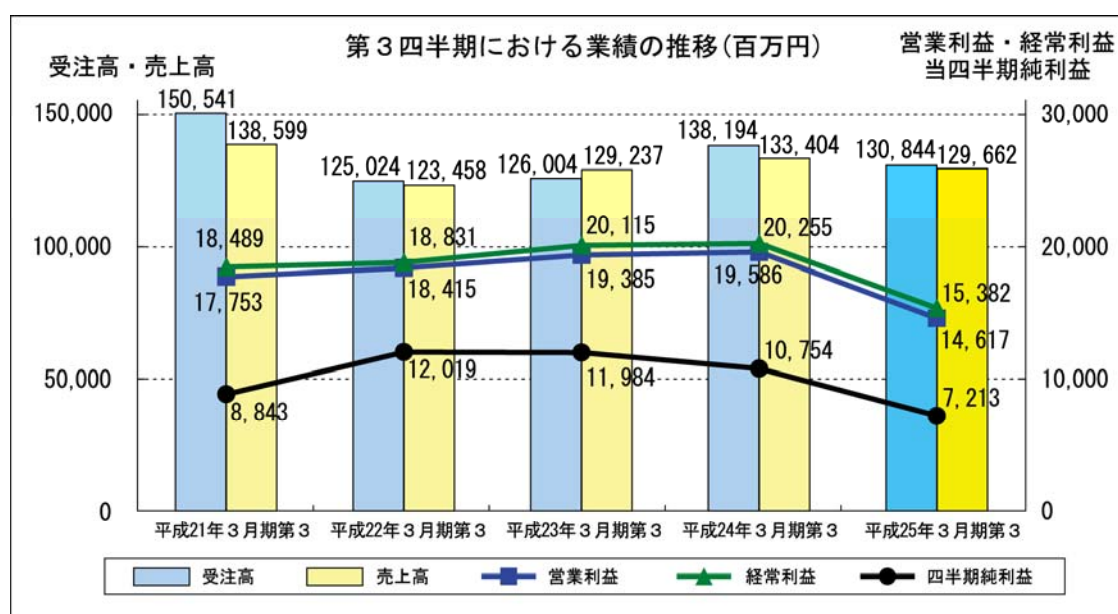
(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第3四半期の概況(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

当社グループをとりまく市場環境は、国内では、震災復興需要の一巡、個人消費の減速、輸出の低迷により、製造業の設備投資、工場操業度ともに低水準にとどまり、厳しい状況で推移しました。海外では、欧州経済の停滞に加え、世界経済を牽引してきた新興国経済の成長が鈍化するなど、世界的な景気後退が継続しております。

このような環境のなか、当社グループは、国内外で事業連携を図り、顧客の生産性向上、環境負荷低減などの課題解決に貢献する商品・サービスの拡大に取り組み、受注確保に努めました。

この結果、当社グループ全体の受注高は130,844百万円(前年同期比5.3%減)、売上高は129,662百万円(前年同期比2.8%減)となりました。利益につきましては、営業利益14,617百万円(前年同期比25.4%減)、経常利益15,382百万円(前年同期比24.1%減)となり、四半期純利益は7,213百万円(前年同期比32.9%減)となりました。



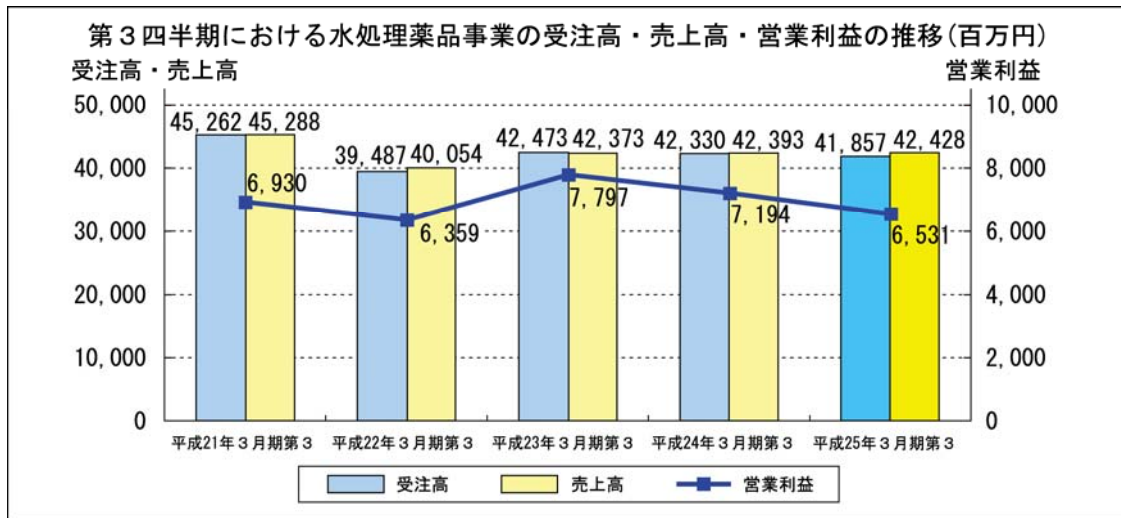
2) セグメント別の概況

①水処理薬品事業

国内では、紙・パルプ向けプロセス薬品やごみ焼却炉向け薬品が受注高・売上高ともに増加しましたが、顧客工場の統廃合、操業停止等の影響を受け、主力の冷却水薬品、排水処理薬品は受注高・売上高ともに減少しました。

海外では、景気低迷が続く欧州で、受注高・売上高ともに減少したものの、中国、タイを中心にアジアで堅調に推移し、受注高・売上高は、ともに増加しました。

この結果、当社グループの水処理薬品事業全体の受注高は41,857百万円(前年同期比1.1%減)、売上高は42,428百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は6,531百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

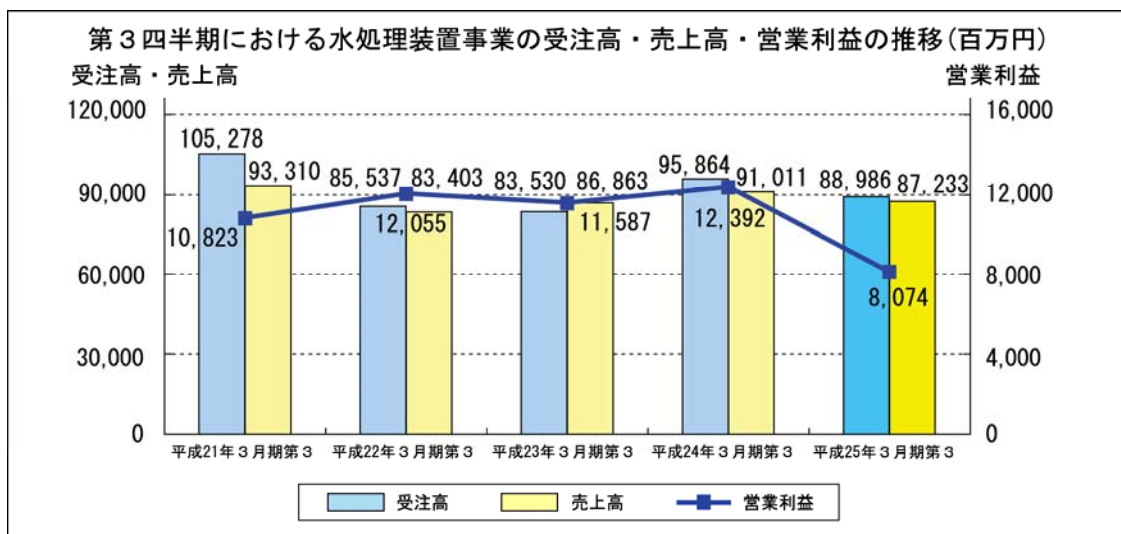


②水処理装置事業

電子産業分野では、国内においては、主要顧客の生産設備再編や操業度の低下により、メンテナンスサービスは受注高・売上高ともに減少しました。超純水供給事業は契約期間が満了した案件もあり、減少しました。海外においては、設備投資の延期、縮小はあったものの、アジアにおける半導体・液晶工場向けの受注高は増加しました。

一般産業分野における受注高は、震災復旧関連需要の一巡、顧客工場の操業度低迷により、電力向け水処理装置とメンテナンスサービスが減少しました。売上高は、土壌浄化は減少しましたが、電力向け水処理装置が工事の進捗に伴い増加しました。

この結果、当社グループの水処理装置事業全体の受注高は88,986百万円（前年同期比7.2%減）、売上高は87,233百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は8,074百万円（前年同期比34.8%減）となりました。



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、137,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,794百万円減少しました。これは主に有価証券が7,000百万円、仕掛品が3,226百万円増加した一方で、売掛金が11,577百万円、現金及び預金が6,736百万円それぞれ減少したことによるものであります。

売掛金の減少は、主に前連結会計年度末の売掛金の回収が順調であったことと、前連結会計年度後半の売上高が高水準であったことによるもので、仕掛品の増加は水処理装置事業の工事進捗によるものであります。

現金及び預金の減少と有価証券の増加は、主に有価証券扱いとなる譲渡性預金での運用増加によるものであります。

固定資産は、115,876百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,280百万円減少しました。これは主に有形固定資産が10,038百万円減少したことによるものであります。

有形固定資産の減少は、超純水供給事業用設備等の減価償却費の当第3四半期連結累計期間における計上額が設備投資額を上回ったこと、当社が保有する超純水供給事業用設備の一部を売却したことおよび、本社移転に伴う減損損失の計上によるものであります。

流動負債は、31,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,831百万円減少しました。これは主に未払法人税等が6,613百万円、買掛金が4,073百万円それぞれ減少したことによるものであります。未払法人税等の減少は、確定申告納付と中間申告納付によるもので、買掛金の減少は前連結会計年度後半と比べ仕入高の水準が低下したことによるものであります。

固定負債は、19,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ789百万円の増加となりました。

純資産合計は、201,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,033百万円減少しました。これは主に、公開買付等により自己株式が12,216百万円増加したこと、第2四半期連結会計期間の投資有価証券評価損2,343百万円計上後の株価回復により、その他有価証券評価差額金が2,170百万円増加したこと、前連結会計年度の期末配当金および当期の中間配当金支払額5,193百万円を上回る、当第3四半期連結累計期間の純利益7,213百万円の計上により利益剰余金が2,012百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日公表の「平成25年3月期 第2四半期決算短信」に記載しました平成25年3月期の通期の連結業績予想のとおり推移するものと考えております。

四半期業績の推移は5ページに記載のとおりであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

a. 税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これに伴う当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

○参考情報

四半期業績の推移

(単位：百万円)

		平成23年3月期				平成24年3月期				平成25年3月期			
		第1	第2	第3	通期	第1	第2	第3	通期	第1	第2	第3	通期予想
受 注 高	水処理薬品	14,550	29,156	42,473	56,714	14,658	29,018	42,330	56,748	14,462	28,694	41,857	57,200
	対通期比(%)	25.7	51.4	74.9	100.0	25.8	51.1	74.6	100.0	25.3	50.2	73.2	100.0
	水処理装置	29,859	60,789	83,530	125,237	32,295	69,418	95,864	140,507	30,053	65,376	88,986	140,800
	対通期比(%)	23.8	48.5	66.7	100.0	23.0	49.4	68.2	100.0	21.3	46.4	63.2	100.0
	合 計	44,410	89,946	126,004	181,951	46,953	98,436	138,194	197,256	44,516	94,070	130,844	198,000
	対通期比(%)	24.4	49.4	69.3	100.0	23.8	49.9	70.1	100.0	22.5	47.5	66.1	100.0
売 上 高	水処理薬品	13,604	28,663	42,373	56,735	13,445	28,617	42,393	56,443	13,465	28,674	42,428	57,100
	対通期比(%)	24.0	50.5	74.7	100.0	23.8	50.7	75.1	100.0	23.6	50.2	74.3	100.0
	水処理装置	25,596	59,048	86,863	124,499	24,802	60,898	91,011	137,348	26,807	61,562	87,233	138,900
	対通期比(%)	20.6	47.4	69.8	100.0	18.1	44.3	66.3	100.0	19.3	44.3	62.8	100.0
	合 計	39,201	87,712	129,237	181,234	38,248	89,515	133,404	193,792	40,273	90,236	129,662	196,000
	対通期比(%)	21.6	48.4	71.3	100.0	19.7	46.2	68.8	100.0	20.5	46.0	66.2	100.0
営業利益		5,267	13,412	19,385	27,131	4,760	13,017	19,586	29,382	4,345	10,854	14,617	25,000
対通期比(%)		19.4	49.4	71.4	100.0	16.2	44.3	66.7	100.0	17.4	43.4	58.5	100.0
経常利益		5,559	13,902	20,115	28,158	5,054	13,384	20,255	30,369	4,592	11,335	15,382	25,700
対通期比(%)		19.7	49.4	71.4	100.0	16.6	44.1	66.7	100.0	17.9	44.1	59.9	100.0
当期純利益		3,318	8,202	11,984	17,138	2,993	7,881	10,754	16,548	3,510	4,865	7,213	13,600
対通期比(%)		19.4	47.9	69.9	100.0	18.1	47.6	65.0	100.0	25.8	35.8	53.0	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,902	22,166
受取手形	7,045	6,584
売掛金	59,311	47,734
有価証券	40,500	47,500
製品	1,598	1,364
仕掛品	2,715	5,941
原材料及び貯蔵品	1,209	1,480
その他	3,761	4,464
貸倒引当金	△58	△45
流動資産合計	144,985	137,191
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	28,355	24,461
機械及び装置(純額)	44,779	38,010
その他(純額)	25,233	25,858
有形固定資産合計	98,368	88,330
無形固定資産	1,683	1,706
投資その他の資産		
その他	26,443	26,177
貸倒引当金	△339	△338
投資その他の資産合計	26,103	25,839
固定資産合計	126,156	115,876
資産合計	271,141	253,067
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,701	1,378
買掛金	19,620	15,547
未払法人税等	7,045	432
引当金	3,434	2,332
その他	10,555	11,836
流動負債合計	42,358	31,527
固定負債		
退職給付引当金	10,335	10,693
その他の引当金	168	596
その他	8,277	8,280
固定負債合計	18,781	19,570
負債合計	61,139	51,098

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,450	13,450
資本剰余金	11,426	11,426
利益剰余金	196,541	198,553
自己株式	△9,642	△21,858
株主資本合計	211,776	201,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	2,422
土地再評価差額金	△564	△564
為替換算調整勘定	△2,572	△2,616
その他の包括利益累計額合計	△2,884	△758
少数株主持分	1,110	1,156
純資産合計	210,002	201,969
負債純資産合計	271,141	253,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	133,404	129,662
売上原価	86,768	86,610
売上総利益	46,636	43,052
販売費及び一般管理費	27,049	28,435
営業利益	19,586	14,617
営業外収益		
受取利息	107	108
受取配当金	353	347
持分法による投資利益	265	271
その他	134	197
営業外収益合計	860	925
営業外費用		
支払利息	69	61
その他	121	98
営業外費用合計	191	159
経常利益	20,255	15,382
特別利益		
固定資産売却益	—	1,048
閉鎖型適格退職年金制度終了益	—	137
特別利益合計	—	1,186
特別損失		
減損損失	—	※1 1,001
建物解体費用引当金繰入額	—	※2 434
投資有価証券評価損	608	2,343
災害損失及び災害復旧支援費用	35	—
特別損失合計	644	3,778
税金等調整前四半期純利益	19,611	12,790
法人税等	8,825	5,529
少数株主損益調整前四半期純利益	10,786	7,260
少数株主利益	31	47
四半期純利益	10,754	7,213

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,786	7,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,758	2,168
土地再評価差額金	184	—
為替換算調整勘定	△577	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	22
その他の包括利益合計	△2,207	2,136
四半期包括利益	8,578	9,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,588	9,338
少数株主に係る四半期包括利益	△10	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 連結財務諸表に関する注記

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	種類	場所	減損損失計上額
遊休資産	建物及び構築物等	東京都新宿区	1,001百万円

当社グループは、事業用資産については事業の種類を基本とし、賃貸資産及び遊休資産については個別物件毎に資産のグルーピングを行っております。当第3四半期連結累計期間においては、事業用資産及び賃貸資産については減損の兆候がありませんでしたが、本社の移転により、東京都新宿区の土地、建物及び構築物等が遊休状態になっております。このうち、建物及び構築物等については、老朽化し、回収可能性が認められないため、その帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失1,001百万円として特別損失に計上しております。

※2 建物解体費用引当金繰入額

当第3四半期連結累計期間において、旧本社(東京都新宿区)建物解体処理計画に基づき、今後発生が見込まれる費用について、合理的に見積もられる金額を建物解体費用引当金繰入額434百万円として特別損失に計上しております。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,393	91,011	133,404	—	133,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	265	198	463	△463	—
計	42,658	91,209	133,868	△463	133,404
セグメント利益	7,194	12,392	19,587	△0	19,586

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水処理薬品 事業	水処理装置 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,428	87,233	129,662	—	129,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	236	115	351	△351	—
計	42,664	87,349	130,014	△351	129,662
セグメント利益	6,531	8,074	14,605	11	14,617

(注) 1. 調整額のうち売上高は、セグメント間取引消去額であり、セグメント利益は、セグメント間取引消去に伴うものであります。

2. セグメント利益欄は、営業利益の数値であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

当第3四半期連結累計期間の固定資産の減損損失は遊休資産であるため、各セグメントへの影響はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

当社は、平成24年10月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、普通株式7,493,655株を12,214百万円で取得しました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取による増加も含め、当第3四半期連結累計期間においては12,216百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において21,858百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 受注高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	42,330	30.6%	41,857	32.0%
水処理装置事業(百万円)	95,864	69.4	88,986	68.0
合計(百万円)	138,194	100.0	130,844	100.0

(2) 売上高

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	42,393	31.8%	42,428	32.7%
水処理装置事業(百万円)	91,011	68.2	87,233	67.3
合計(百万円)	133,404	100.0	129,662	100.0

(3) 設備投資額(有形固定資産)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	853	15.8%	1,009	23.8%
水処理装置事業(百万円)	4,562	84.2	3,237	76.2
合計(百万円)	5,415	100.0	4,247	100.0

(4) 減価償却費(有形固定資産)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
水処理薬品事業(百万円)	867	7.6%	816	7.5%
水処理装置事業(百万円)	10,615	92.4	10,101	92.5
合計(百万円)	11,482	100.0	10,918	100.0